

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】梅毒検査（RPR および TP 抗体）における試薬反応性の解析

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】杉山 隆（病院長）

【研究責任者】岡本愛（愛媛大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師）

【研究の目的】

梅毒感染の報告数は近年増加傾向にあり、その感染状況を把握するためにも梅毒検査は重要です。梅毒検査には脂質抗原検査である RPR と TP 菌体成分を抗原とする TP 抗体検査とがあり両者を測定することで感染状況の把握や治療効果判定を行っています。今回は測定試薬と検体との反応性について解析を行い、その試薬の特性を明らかにします。また、これまでに測定を行ってきた検査試薬や検査機器の変遷とともに非特異反応の発生頻度や非特異反応を引き起こす原因について解析を行い、正確・迅速な結果の報告に繋がっていきたいと考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2010年1月から2027年12月の間に当院で梅毒検査（RPR および TP 抗体）を実施された患者さんについて、以下の項目を調査します。

（利用するカルテ情報）年齢、性別、診療科、基礎疾患、検査データ、および治療状況など

（利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（血液・髄液）

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除い

たします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院検査部 岡本愛

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院検査部 岡本 愛

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5598